

Oak Village. 通信

月刊オークヴィレッジ通信 No.382 2010.10.1 <http://www.oakv.co.jp>



オークヴィレッジ木造建築研究所

上野 英二 文

Text by Eiji Ueno

齋部 功 写真

Photographs by Isao Imbe

日本の大都市圏での戸建住宅事情は、土地代と建築費の予算比率がおおよそ7:3ほどだが、地方ではこの比率が逆転し、3:7ほどにするのが可能だという。

つまり、同じ予算で地方に戸建を持つことができたなら、建物に多くの予算を充てることができ、より充実した家が入ることになる。

施主はこのことを実行に移そうと土地探しに奔走し、この場所と巡り会った。

ここは、海岸から一気に急斜面を100メートル程上った所で、太平洋を真下に臨むことができ、西面と北面は上部の山の裾野にあたり、木々が生い茂る森の中でもある。

海、森の緑、青く澄んだ空を臨み、大自然と共にあるこの場所は「海と山の家」の両方の条件を兼ね備えている。

(次頁に続く)